

新しい年を迎えて

(社)日本建設機械化協会中国支部
支部長 河原 能久

あけましておめでとうございます。

平成24年の新春を迎え、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は、年末・年始の記録的な豪雪に始まり、3月11日には三陸沖で発生したマグニチュード9.0という未曾有の大地震と、それに伴う大津波により東北地方太平洋沿岸域さらには福島第一原子力発電所では壊滅的な被害を被りました。

震災発生から10ヶ月経過し、新しい年を迎えましたが、未だに行方のわからない方々、仮設住宅や遠方での避難生活を余儀なくされている方々、更にはがれきの処理、原発事故の処理など、この災害によってもたらされた影響は被災地のみならず全国にも及んでいます。

その後の台風12号、15号に伴う豪雨では紀伊半島で連続して甚大な被害を被りました、11月には中国地方でも広島北部地震も観測される等、自然の脅威にさらされた一年でありました。

改めて、これらの災害でお亡くなりになられました方々のご冥福をお祈りすると共に、被害に遭われました方々に心よりお見舞いを申し上げ、一日も早い復興・復旧をお祈り致します。

また、経済状況ではヨーロッパ諸国での財政危機の勃発、長引くアメリカ経済の低迷など世界的な経済不安に加え我が国では円高やタイ水害の産業界への影響など、未だに明るい展望の画けない一年でありました。

平成23年度の公共事業関係予算も前年度比約5%の削減とされ、大震災を契機に3次にわたる補正予算が組まれましたが、これらは東日本大震災等の復興・復旧や防災対策が中心とされ、比較的震災被害等の発生リスクの少ない当地方では幸か不幸か余り補正予算の恩恵にあずからず依然として地元建設産業には厳しい状況が続いています。

然しながら、大震災による太平洋沿岸地域の中核機能の喪失という最悪の事態の発生も危惧される今日、当地方がその時果たすべき役割を明確にし、それに備えた十分な社会基盤の整備のためには一層の投資の拡大を望むところです。

昨年(2011年)の「今年の漢字」には、「絆」の文字が選ばれました。ネットや新聞等を開くと、今年はやはり「東日本大震災」により改めて見直された〇家族や身内・肉親との「絆」の大事さ、尊さ、〇女子サッカー「なでしこジャパン」の「絆」による女子ワールドカップ金メダル、等々が挙げられていますが、我々の身近なところでは、やはり「絆(熟練者と若年者)」、「絆(組織の充実)」に期待するところの「熟練技術の継承による工事の品質の確保」あるいは「誠実な信頼関係の構築による社会資本整備」というところ です。

(社)日本建設機械化協会中国支部においては、建設施工システムの活用・高度化を推進し、「建設生産性の向上」「建設コスト削減」「品質確保の促進」などの調査研究活動のための体制強化や、サービス向上に寄与するための公益事業活動を進めているところです。

社会情勢が大きく変化し自然環境も益々厳しくなる現状を踏まえ、日本建設機械化協会としても社会における「真」の必要性、あり方等について議論し「改善」「改革」を図ることとしておりますので、会員の皆様方をはじめ、関係各位のご指導ご鞭撻をお願いするところです。

新しい年「平成24年」が、希望に満ちた年となりますよう、また、「安全」で「安心」して暮らせる、そして「平穏」な年でありますことを祈念し年頭のご挨拶と致します。

平成24年1月



中国地方整備局との懇談会を開催

(社) 日本建設機械化協会中国支部では去る12月9日(金) 八丁堀シャンテにおいて国土交通省中国地方整備局と懇談会を開催しました。

冒頭河原支部長から「今年は「東日本大震災」による地震、津波、原発事故と未曾有の大災害や、その後の連続した台風で近畿、中国地方も豪雨被害に晒される等自然災害の多い年である。被災地等の一日も早い復興を願う中、当支部では会員や一般も含めた幅広い技術者を対象に「情報化施工」を含む「講習会」「研修会」等を開催し、技術力の維持・向上を目指している。本日は、アンケート調査の結果や、日頃より会員が抱える諸課題や要望等について整理し、公共工事の品質確保をはじめ幾つかの課題を用意した。このような懇談会の場で意見交換ができることは、会員にとっても非常に意義深く、今後の支部活動の活性化に繋がると考えている」と挨拶されました。

中国地方整備局の松浦企画部長からは、「災害対応には国はもとより、県、市等の自治体及び業界団体の方々の協力が不可欠であるとされ、「東日本大震災」や公共事業関係予算等の状況について概況を話されると共に、事業執行にあたってのパートナーシップの確立や、入札契約に係る諸対策、地元企業の育成などの施策を展開していることを強調された他、「情報化施工技術」の推進に関連し、22年度は管内で29工事、今年度は現在のところ27工事の試行を実施しており、今後も積極的に推進する」と挨拶されました。

議事に移ってからは、支部の各部会から提案議題の説明に続き、整備局の各担当官より説明がなされた後の意見交換では予定時間を超える議論が交わされました。

なお、中国支部より提案した議題は次のとおりです。

1) 公共工事の品質の確保について

(1)入札契約に関する事項

- | | |
|-----------------|--------------|
| ①積算基準について | ②発注時期の平準化等 |
| ③総合評価の評価項目等について | ④適切な条件明示に関して |
| ⑤入札結果の速やかな公表等 | |

(2)工事中の課題

- ①「ワンデイ・レスポンス」・「三者検討会」等の運用について

(3)機械設備保守点検業務について

- | | |
|---------------|-----------------|
| ①入札契約のあり方について | ②業務の履行とその結果について |
|---------------|-----------------|

(4)情報化施工について

2) その他の事項

(1)技術者制度検討会報告の取扱いについて

(2)建設機械の開発に関して

(3)防災対応業務について

(4)建設機械施工技士制度や技術者の活用に関して



挨拶される松浦企画部長



挨拶される河原支部長

第29回 新技術・新工法発表会の開催報告

○日 時：平成23年10月31日（月） 13：30～17：00

○場 所：R C C文化センター 701室（広島市中区橋本町5-11）

○参加者：72名

○発表課題

（アンケート結果）

特に興味があった

発表課題

1）技術発表

- | | | |
|---|-------------------|------|
| ①整備局における最近の話題 | ：国土交通省中国地方整備局 企画部 | 31 % |
| ②スクレーパ付きベルトコンベア方式薄層撒出機
を使用した覆砂工事について | ：中国高压コンクリート工業(株) | 7 % |
| ③自走式3種同時混合土質改良工法 | ：大福工業(株) | 22 % |
| ④マイクロナノバブル水を用いたトンネル壁面洗
浄方法の開発 | ：(株)大広エンジニアリング | 16 % |
| ⑤自動路面描画装置「ヒューナビ」の開発 | ：(株)NIPPO、(株)技工社 | 33 % |

（複数回答）

2）映像発表

- ①余部橋梁架け替え工事：清水建設(株)



○参加者の声（アンケート）

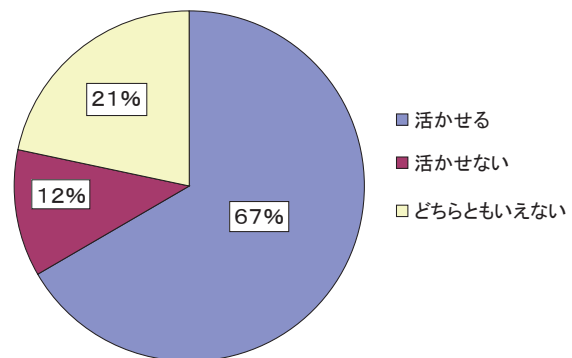
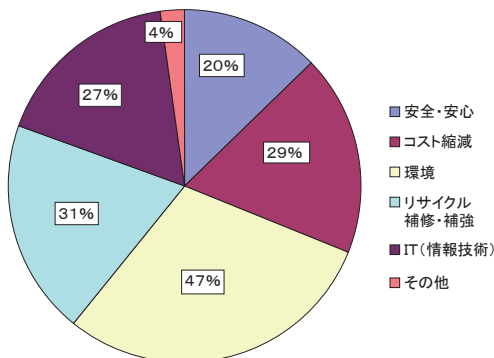
アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後の発表会の開催に活用させていただきます。

1）今後の発表会のあり方について

- ・とてもよい勉強になりました。もっと色々な企業の新技術の話を聞いてみたい。
- ・安全、コスト削減、維持管理、リサイクル、災害復旧、施工機械等の発表をしていただきたい。
- ・専門工種より現場に直結する又は総合評価に採用可能となるような技術発表をお願いしたい。
- ・動画による発表をお願いしたい。
- ・もう少し広い会場で行ってほしい。

2）今後の発表会の内容について

3）今後の業務への活用について



第29回新技術・新工法発表会の開催にあたり、国土交通省中国地方整備局ならびに技術発表をいただきました企業の関係者の方々には、ご協力誠に有難うございました。

情報化施工技術研究会（第1回）を開催

機械化協会中国支部では、去る12月15日広島YMCAにおいて第1回の「情報化施工技術研究会」を開催しました。「情報化施工」はICT（情報通信技術）などを活用した新しい施工法として、工事の品質や効率の向上だけでなく、安全面などでも効果の高い技術として更なる普及が望まれており、平成25年度には1部の技術が一般化され、入札契約時の総合評価においても提案項目として位置付けられるなど、情報化施工の取り組みが積極的に展開されています。

中国支部においても、この「情報化施工技術の向上と推進及び当該技術者の育成」を事業計画に掲げ、会員を含む建設産業界を対象に「情報化施工講習会」や「研修会（セミナー）」を開催し「情報化施工技術」の普及・促進や「当該技術者の育成」に努めているところです。



今回、「情報化施工技術」の更なる「普及」と「促進」についての意見（情報）交換や問題点・課題等を抽出・整理し、より適切な「施工体制の確立」「認識の向上」等についての意見、要望等の抽出を行うため「情報化施工技術研究会」を設けることとしました。

研究会には、会員から参加希望のあった21社の関係者が集まり、当支部の施工技術部会長を座長に選出し、「情報化施工の施工事例とその課題や問題点」及び、今後の新しい「情報化施工機械器具」の技術開発に関する話題などの紹介と意見交換を行いました。

以下、研究会（第1回）の主な内容を紹介します。

○舗装工事事例の紹介

- ・ 情報化施工の専用機種を調達したため初期投資がかかった。
- ・ 施工については現段階では本社主導で、本社より指導に来る。

○盛土締め固め管理事例の紹介

- ・ 幅の狭い盛り土での締め固め管理においてズレが生じて計画断面から外れたり、転圧回数が加算されない事態があった。
- ・ 施工管理に要する時間や、監督員立会頻度が増えた。
- ・ ハード面の故障やトラブルが多い事や、天空視界等に左右される。

○最近の情報化施工技術（機械器具等）開発の紹介

- ・ 海外では施工機器等を最初から組込んだ（後付けではなく）機械として開発が進んでいる。

○講習会（研修会）等の実施報告及びアンケート結果（抜粋）

○今後の進め方等：

- ・ 施工の経験に基づく問題点や課題等を集約し、意見（情報）交換が出来るような構成に固めていく。
- ・ 多数の方々からの意見等をまとめ、できれば年度内に会員宛発信する。
- ・ 研究会（事務局）の運営については、状況に合わせて体制を構築する。

○次回開催予定（時期・内容）

- …概ね今回程度の内容で、24年4月頃の開催を目標とする



会員紹介コーナー



SUMITOMO

フィールドビューモニター
FVMは、
NETIS登録の
新技術です！

登録番号:KT-110057-A
NETIS:New Technology Information System

国土交通省のNETIS(新技術情報提供システム)に登録。 建機オペレータの安全確認をサポートする「FVM」

後方視界を、空から見るという発想。



●独自の画像処理技術：設置した3つのカメラからの映像を、独自の画像処理技術で合成し、映像の重なり部分の死角を解消しています。【特許申請中】

挟まれ・巻き込まれ事故の要因の1つと考えられる、周囲の視認不足を解消したい。
フィールドビューモニター(FVM)は、そんな住友建機の思いから誕生しました。
目視では困難だった後方270度の視界を、運転席のモニターに表示し安全確認をサポート。
国土交通省の新技術情報提供システム「NETIS」にも登録している
この新しい技術は、やがて現場のスタンダードとなるかもしれません。

NETIS登録の「FVM」を採用すれば、
「公共事業」で大きなメリット!

工事成績評価

総合評価方式
の入れ

評価の加点対象になり有利に



住友建機販売株式会社 中四国統括部

〒731-5107 広島県広島市佐伯区石内上一丁目17番1号 ☎082-941-5100

<http://www.sumitomokenki.co.jp>

～高度な技術力で信頼に応える～

水都、城下町松江を本拠に土木、建築から舗装まで優れた技術力と高い信頼性で確実な進歩を遂げています。長年のノウハウを活かすと、ともに新しい技術開発にも取り組み、常に先進技術集団のトップを目指しています。



高架橋床版工事



街路舗装工事



校舎建築工事



明るく住みよい未来を開く

まるなか建設株式会社

代表取締役 中 筋 廣 昭

本 社 〒690-0044 島根県松江市浜乃木6丁目1-70

TEL 0852-24-6315 FAX 0852-27-6643

支 店 玉造支店・出雲支店

ホームページ : <http://www.maru-naka.co.jp>

国際緊急援助隊排水ポンプ車チームによる タイにおける排水作業

■タイにおける排水作業の概要

国土交通省は、洪水被害を受けたタイへの排水支援の一環として、排水能力が高く機動性に優れた排水ポンプ車を派遣し、各冠水箇所における排水作業を実施しました。

今般の排水作業は、排水ポンプ車の初の海外派遣であることに加え、国際緊急援助隊として官民連携の排水チームとして実施したものであり、ポンプ排水の実施にあたり、タイ政府や現地関係者との調整、現地調査、排水ポンプ車の移動、設置、管理に関するタイ作業員への技術指導を実施しました。

○活動隊員：計51名（延べ880人・日）

【国土交通省14名（内中国地整2名）、外務省2名、JICA19名、(独)水資源機構1名、(財)先端建設技術センター1名、民間企業14名（(株)大林組、鹿島建設(株)、(株)クボタ、清水建設(株)、(株)竹中工務店、西松建設(株)、三井住友建設(株)[五十音順]】

○排水作業：平成23年11月19日～12月20日（32日間）、排水量約810万 m^3 （東京ドーム約7杯分、25mプール約23,000杯分）

○タイ政府との調整

【11/24 日タイ合同会議（於：工業省）】



○現地調査

【11/24 バンカディ工業団地】



○技術指導の状況

【11/19 ロジャナ工業団地】



○排水作業の状況

【11/20 ロジャナ工業団地】



○排水の効果

【排水前（11/23） ロジャナ工業団地】



【排水後（11/26） ロジャナ工業団地】



国際緊急援助隊排水ポンプ車チームによる タイにおける排水作業

○排水作業位置図



○排水実績

	箇所	期間	推定排水量
①	ロジャナ工業団地	11/19～11/27 (9 日間)	約 230 万 m^3 (25m プール約 6,400 杯分)
②	バンカディ工業団地 及び周辺住宅地	11/26～12/8 (13 日間)	約 250 万 m^3 (25m プール約 6,900 杯分)
③	アジア工科大学院	11/29～12/8 (10 日間)	約 40 万 m^3 (25m プール約 1,100 杯分)
④	ナワナコン工業団地	11/30～12/8 (9 日間)	約 50 万 m^3 (25m プール約 1,400 杯分)
⑤	プライバーン町住宅地	12/8～12/14 (7 日間)	約 40 万 m^3 (25m プール約 1,100 杯分)
⑥	ラックホック地区 (ランシット大学及び 周辺住宅地)	12/9～12/17 (9 日間)	約 30 万 m^3 (25m プール約 800 杯分)
⑦	サイノイ村住宅地	12/14～12/20 (7 日間)	約 170 万 m^3 (25m プール約 4,700 杯分)

お知らせコーナー

今後の行事予定

日 時	区 分	行 事 名	内 容	備 考
平成24年 3月下旬	委員会	運営委員会（春季） 会 場：広島YMCA（予定）	・平成24年度事業計画（案）及び同収支予算（案）	委 員
平成24年 4月下旬	委員会	運営委員会（上期） 会 場：広島YMCA（予定）	・平成23年度事業報告（案）及び同会計報告（案） ・平成24年度優良技術者表彰 （運転・整備部門、管理部門、技術開発部門）	委 員
平成24年 4月下旬	発表会	第30回「新技術新工法発表会」 会 場：未定 定 員：100名（予定）	会員による会員自社において開発された「新技術・新工法」の発表会。発表されれば、「中国地方技術開発交流会」への候補として登録される。募集開始は2月中旬を予定。	会 員
平成24年 5月中旬	総 会	第61回支部通常総会 会 場：未定	・平成23年度事業報告（案）及び同会計報告（案） ・平成24年度事業計画（案）及び同収支予算（案）	会 員
		平成24年度 建設の機械化施工優良技術員表彰	・平成24年度優良技術者表彰 （運転・整備部門、管理部門、技術開発部門）	
		第61回支部通常総会「記念講演会」	演 題：未定 講 師：未定	

平成24年度 1級・2級 建設機械施工技術検定試験日程のご案内

○今年度の建設機械施工技術検定試験の日程の概要は次の通りです。

- ・受付期間：平成24年3月9日（金）～4月6日（金）
- ・学科試験日：平成24年6月17日（日）
- ・学科試験地：北広島市（北海道）・仙台市・東京都・新潟市・名古屋市・大阪市
広島市・高松市・福岡市・那覇市（10会場）
- ・実地試験日：平成24年8月下旬～9月中旬
- ・実地試験地：全国13会場（中国地方は広島市で実施予定）

○受検に関する問合せ：中国支部または支部ホームページをご覧ください。

（このページ最下欄を参照下さい）

編集後記

「今年は二度と、あんな痛ましい天災が起こりませんように…」
そんな祈りの気持ちで新年を迎えた人が大半だと思います。
そんな年明けも、年始の挨拶で一月がアツト言う間に過ぎた感じです。
良い年になる様と思いつつ、様々な問題を先送りして「日本丸」は操舵不能ですか？
13日には、野田改造内閣が発足しました。行政改革・政治改革の断行をしたい！
消費税増税！ 国会議員定数の削減！ 国家公務員の給与削減！
新防衛大臣の米軍普天間移設に対する発言等は勉強不足の「素人発言」！
コンクリートから人へ、天災でコンクリートは人を救うと修正されましたが、碎石場からの骨材で汚染コンクリートが報じられました。5,200トンが生コン工場・建設会社等に出荷された様で、やっとの思いで新築された一戸建て、新築マンションも解体に？ 泣くに泣かれない状況ですね!!
復旧・復興に向けて早く政治が力強く動いて欲しいものです。
被災された人に元気と勇気と大きな夢を贈って下さい。お願いします。

CMnavi編集委員会

平成24年 2月発行

編集・発行 (社)日本建設機械化協会中国支部機関誌編集委員会

〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22 築地ビル402

TEL 082-221-6841

FAX 082-221-6831

<http://www.jcmanet.or.jp/chugoku/>

E-mail jcma-chugoku@mx41.tiki.ne.jp